



げんきはっしん!

あなたも岡崎げんき館市民フォーラムに参加してみませんか？！

平成 20 年 3 月、旧市民病院跡地にオープンする
岡崎げんき館について一緒に考えてみませんか。

テレビなどのマスコミでも活躍されている
中京大学の湯浅景元教授による講演会も
あります。ぜひご参加ください。



日時：平成19年 2月10日(土)
午後1時30分～4時30分
場所：岡崎市福祉会館 6階大ホール
内容：岡崎げんき館の概要説明・市民会議の活動
報告、パネルディスカッション、講演会等

どなたでも
参加OK!

市民まつり・健康おかざきフェスティバルに参加しました！

11月4日、5日、初めて参加した市民まつり(岡崎公園多目的広場)で、岡崎げんき館のリーフレットと共に“げんきはっしん”を配布して、延べ約4500人の市民の皆さんにPRすることができました。汗ばむほどの陽気の下、薬剤師会による健康茶の振る舞いとおもちゃ図書館きららのバザー等を楽しんでいただき、岡短げんきクラブによる輪投げやバルンアート、ぶんぶんごまにちびっ子達も大はしゃぎでした。また、市民からは公共の温水プールに期待する声が多く寄せられました。

5日はフェスティバル(コミュニティサテライトオフィス)でも同様のPRをし、市民の皆さんからアンケートを取らせていただきました。その結果、岡崎げんき館の知名度は去年と比べて2割から5割にアップしました。健康づくりとして実践したいものは、「糖尿病など生活習慣病の予防 ポケ(認知症)の予防 ダイエット 転倒防止などの介護予防をしたい」の順でした。また、健康づくりに必要なこととして「適度な運動」に次いで「心の健康づくり」への関心が高まってきました。

今後も市民会議では、市民の皆さんの声を聞きながら、岡崎げんき館が市民に親しまれる施設となるよう活動していきます。(岡崎げんき館市民会議 佐々木秀美)

市民まつりの様子



岡崎女子短期大学元気クラブによる
バルンアート



健康おかざきフェスティバルの様子



関連ホームページ“ご覧ください”

岡崎げんき館ホームページアドレス

<http://www.city.okazaki.aichi.jp/yakusho/ka3240/ka702.htm>

おかざき市民活動情報広場ホームページアドレス

<http://genki365.net/gnko/customer/okazaki/index.php>



ご意見はこちらまで

E-mail kenkosuishin@city.okazaki.aichi.jp

お知らせ

根石学区読み聞かせ(岡崎女子短期大学げんきクラブ)
12月17日(日)絵本の読み聞かせ(根石学区市民ホーム)

リーダー研修会(岡崎市健康づくりリーダー連絡協議会)
12月17日(日)中間報告会、意見交換会等

ウォーキング(岡崎市ウォーキング協会)
12月24日(日)年忘れウォーク 伝説浄瑠璃姫(矢作橋駅)
1月28日(日)三市を歩く 安城・岡崎・豊田(岡崎公園)



「地域にぎわい創出事業」 市民交流・生涯学習部会、栄養サポート部会

10月29日(日) 岡崎東公園内と市内一帯で、岡崎市体育協会主催の第4回健康ウォーク21岡崎大会にあわせて「地域にぎわい創出事業」を行いました。

当日は、青空に美しい紅葉の始まった絶好のウォーキング日和に、スタッフ、関係者含め、1歳から80歳の350名が参加。5、10、15、25kmのコースごとに記念の集合写真を撮影した後、それぞれの目的コースに向かって歩き出しました。途中のチェックポイントでは、スタンプ、ゲーム等を楽しみながら、和気あいあいのグループから一人で黙々と歩く人など、いろいろ・・・。



若宮公園では、岡崎げんき館市民会議市民交流・生涯学習部会のメンバーと若宮商店街の協力で“名物みたらし団子”を振る舞い大好評！今、建設の始まった岡崎げんき館の看板前で2008年3月完成後の商店街の賑わいを願いPRのチラシを配りました。東公園ゴール地点では、栄養サポート部会手作りの“黒ごま入りおさつむしパン”が待っていました。傾きかけた秋の陽の光が参加者の汗ばんだ顔を照らして一層美しく見えました。

(市民交流・生涯学習部会 榊原みどり)



『運動&栄養でげんきになろう！』と、東公園では、岡崎栄養士会さんが“食のクイズ”を行いました。

市民会議の組織体制を強化しよう 岡崎げんき館市民会議

10月31日、「NPO法人化の必要性について考える」をテーマに、NPO法人ヘルスブレインネットワーク副理事長中野眞さんを講師にお迎えして、研修会を行いました。中野さんからは「社会に役立つ活動・事業が拡大し、成長し、責任ある経営が必要になったら法人化を検討しよう」とアドバイスをいただきました。

今後、研修会で勉強したことも参考にして、市民会議の活動に責任を持って継続的に行っていくるように、組織体制づくりの強化も進めていきます。

市民団体紹介リレー 「社団法人 岡崎歯科医師会」

岡崎歯科医師会は、昭和22年に設立されて以来、医道の高揚、歯科医学及び歯科医術進歩発達並びに公衆衛生の普及向上を図り、地域住民の健康及び福祉の増進に寄与することを目的として活動してきました。母子保健活動、学校歯科保健といった若年者から住民健診や事業所歯科健診、「80歳で20本以上の歯を保って豊かな食生活を楽しんでいただきたい、活力のある高齢化時代を築いていただく」という8020運動を展開しています。また救急歯科医療として、休日、祝日、平日夜間に岡崎歯科医師会緊急医療センターにて対応しています。21世紀を迎え少子高齢化が進み、社会構造が変化中、より良質な医療、福祉が求められる時代となりました。私共は、そのような新しい時代に即した歯科医療事業への参画だけでなく、地域住民の皆様の健康を守るプロフェッショナル集団としての自覚をもって多様なニーズにお応えできるよう努力していきます。



(社団法人 岡崎歯科医師会)

///げんきコラム///今回は「これから大切なこと」

小児科医となって20年以上経ちました。昔は問題ではなかったが今は問題となっている事に、夜間急病診療所を受診される小児患者の急増があります。



利用者の多くは夜間に急病診療所へいく必要はないと思われる軽症ケースがほとんどで、親御様方の子育ての「漠然とした不安」が「救急」となっている可能性が考えられています。げんき館市民会議子どもサポート部会では、困ったことや心配のある人が気軽に、いつでも専門家や相談員と相談ができるような相談事業、((仮称)子ども発達サポート事業、子どもの総合相談事業)を新しく興すことになっており、行政、SPCと協力していいものができるよう奮闘中です。これからは人の「心に対する精神的支援」が非常に大切だなぁと思っています。

(子どもサポート部会 富田 博)